

愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

NPOあいち障害者センター

②施設・事業所情報

名称：作業所 わかばドリーム作業所	種別：生活介護/就労継続支援B型	
代表者氏名：浅野 勝巳	定員：28名（生活介護18名、B型10名）	
所在地：愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12-3		
TEL：0586（64）6450		
ホームページ：法人HP http://www.kisogawa-fukushikai.or.jp		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2014年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人きそがわ福祉会		
職員数	常勤職員 8名	非常勤職員 23名
専門職員	サービス管理責任者 1名	目標工賃達成指導員 1名
	生活支援員 23名	職業指導員 3名
	準・看護師 2名	調理員 1名
施設・設備の概要	(設備等)	

③理念・基本方針

1992年にきそがわ福祉会の基本理念を定め、その後、今日的な社会福祉を取り巻く状況等を踏まえ法人基本理念を以下のように見直した。
 [1] わたしたちは、一人一人の利用者の人生が充実し、日々を生き生きと暮らしていけるような事業を営んでいきます。
 [2] わたしたちは、利用者・関係者・地域の人々が、この地域で安心して暮らし続けていけるための社会、まちづくりに貢献します。
 [3] わたしたちは、上記を実現していくためにも、実践・運動・経営に関して様々な事例を学びつつ、社会福祉の諸制度等が前進していくための活動を大切にします。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・生活介護18名、就労継続B型10名の事業所。来年度から生活介護10名増の受け入れのため建物の増築と体制整備を行っている。
- ・昨年8月から製菓部門が就労支援B型としてスタート。利用者の権利保障の視点から働くことに重点を置き、障害の程度に応じて自分の出来る作業に取組めるよう支援を行っている。商品アイテムも豊富で近隣の企業、高齢者施設などで出店販売も行うなど法人内で一番高い所得保障を実践している。
- ・生活介護は比較的重度の利用者が活動しているが、4か所の企業から下請け内職仕事を受注し、職員と一緒に取組みに荷受けや納品に携わっている。仕事はゴムのバリ取り・ギフトのセット組み等。
- ・利用者と相談しながら季節感を取り入れた行事や、毎月行っている個別の取組みを通じて利用者の生活が豊かになるよう工夫している。（例）誕生日会・一泊旅行・季節の行事・なごみの収穫祭・ほのぼのまつり等。

【生活介護・B型共通】①社会人としてのマナーを身につけ、自分のできる仕事に取組む②生活の幅を広げることも大切に、楽しみな活動をみんなで取組む③1日の取組み（外出等）を通して社会とのつながりや社会ルールを獲得して作業所では味わうことのできない体験をする。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年9月9日（契約日）～ 2022年月日（評価決定日）
受審回数 （前回の受審時期）	3回 （2018年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・利用者の権利侵害の防止に対する取り組みでは、法人の障害特性と障害福祉制度の研修などに参加し、権利侵害の防止・早期発見につながるよう利用者主体の実践に取り組んでいる。
- ・パニック時や不適切な行動があった利用者の対応などについてケース検討を重ねて、小集団での活動を軸にした結果、落ち着いて過ごせる利用者も多くなり利用者との安定した関係が築けている。
- ・受注先の開拓など仕事の確保と、個々人に応じた作業が選択できるよう取り組んでいる。仕事に対して消極的な利用者には無理強いすることなく声かけをしたり、どの作業がしたいのかなど時間を取って本人の意欲が引き出せるよう支援に努めている。
- ・働きやすい職場づくりを目指して日常的に職員から就業状況や困りごとなどを聞き取り、面談を行っている。法人として異動のアンケートを行い希望に応える努力をしている。

◇改善を求められる点

- ・障害の状況に応じた支援が行えるよう取り組んでいるが、「症状」が和らぐ環境づくりや支援のあり方は継続した課題であり計画的に検討会議を開催するなど改善の余地がある。
- ・第三者評価結果についての計画的な改善では課題は明確になっているものの、計画的な取り組みが不十分であり職場課題として位置付けるなど改善が必要である。
- ・法人内及び外部研修・学習に関して全職員への情報提供と参加を呼びかけているが、職員が参加しやすいよう開催時間帯や職場体制の整備など工夫が必要である。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

利用者が安定して過ごすことができるように取り組んでいる点を高く評価していただけたことが良かったです。

第三者評価の結果をもとに、改善する点を職員で共有し、計画的に今後は取り組んでいけるよう位置づけていきたいと思えます。また、研修に関して職員が参加しやすいよう開催時間帯や職場体制の整備の工夫に関しては、いろいろな方法を模索して、改善を図ることに努めていきます。

高い評価をいただいた点に関しては、引き続き維持できるように努めていきます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

わかばドリーム評価項目（細目）の評価結果

※評価細目・64項目について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

【共通評価基準】

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

			第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	障1	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 理念や基本方針の資料を作成し全職員に周知を図っている。			

I-2 経営状況の把握

			第三者評価結果
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	障2	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 法人として社会福祉事業全体の動向や経営状況の把握・分析に努めている。特別支援学校などの情報共有など潜在的なニーズの把握に取り組んでいる。			
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	障3	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 8月から就労継続支援B型を開設し生活介護と併せ多機能型施設としてスタート。さらに法人内の生活介護の定員が一杯のため、わかばドリーム作業所の建物を増築して来年度から定員増をめざして体制等整備している。			

I-3 事業計画の策定

			第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	障4	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 法人として中・長期的の事業計画が策定され、短期入所や児童発達支援センターなどの事業所開所が具体化されている。			
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	障5	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 法人の中長期計画の内容を踏まえ毎年、単年度の計画が策定策定されている。			
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	障6	a ・ (b) ・ c
＜コメント＞ 事業計画を策定し評価と見直しを法人の管理職会議で行い、会議内容は文書で配布して情報共有に努めているが、職員の理解を深めるための意見集約や会議時間確保など改善の余地がある。			
I-3-(2)-②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	障7	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 例年であれば保護者会等で事業計画の周知・理解に努めているが、今年度は保護者会の開催を見送り、資料配布と電話等での周知に取り組んだ。			

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

			第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	障8	(a) ・ b ・ c
＜コメント＞ 定例のケース検討やモニタリング、職員からの提起による支援課題の検討・見直しを行い、職員全体で情報の共有に努めている。			

I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	障9	a ・ ⑥ ・ c
<p><コメント> 強度行動障害などでパニック、他害、自傷がある利用者対応について検討会議を行い、諸症状が和らぐなど改善が見られるようになった。第三者評価の課題では計画的にすすめる点で改善の余地がある。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	障10	① ・ b ・ c
<p><コメント> 会議で管理者の役割、責任について表明し、周知を図っている。</p>		
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	障11	a ・ ⑥ ・ c
<p><コメント> 法令等の遵守のため意識的に情報を得て職員会議等で周知、理解を促すようにしているが、不十分なこともあり学習会を計画している。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	障12	① ・ b ・ c
<p><コメント> 質の向上への意欲をもち障害の理解促進や非常勤職員とも協力しながら支援体制の構築をしている。</p>		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	障13	① ・ b ・ c
<p><コメント> 現場の実践資料を基に課題提起し支援内容の改善をすすめている。報酬加算の仕組みについて職員会議で交流し、人員配置とコストバランスなどの課題について問題意識として共有はできている。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	障14	① ・ b ・ c
<p><コメント> 法人として全事業所の人材確保に努め、定期的な研修で育成を図っている。</p>		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	障15	① ・ b ・ c
<p><コメント> 総合的な人事管理は法人本部で行っている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	障16	① ・ b ・ c
<p><コメント> 法人として異動のアンケートを行い、希望にこたえる努力はしている。日常的に職員間でコミュニケーションをしっかりととり、情報共有や必要に応じて個別面談を行い働きやすい環境作りを取組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	障17	a ・ ⑥ ・ c
<p><コメント> 常勤職員は個別研修計画を立てて個々人の目標が明確になっている。非常勤職員に関してはグループ会議等への参加を呼びかけ、実践記録をもとにケース検討を実施するなど職員集団の力量アップに取り組んでいるが、開催時間帯など改善の余地がある。</p>		

Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	障18	① ・ b ・ c
<コメント> 法人として経験年数に応じた研修、障害特性と障害福祉制度など基礎知識の学習、さらに法人内事業所の実践を学び、業務にいかす拠点別の研修が実施されている。		
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	障19	a ・ ② ・ c
<コメント> 法人内及び外部研修・学習に関して全職員への情報提供と参加を呼びかけているが、職員が参加しやすい開催時間帯や職場体制の整備など工夫が必要である。外部研修は業務扱いである。		

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	障20	a ・ ③ ・ c
<コメント> 法人では実習生等の受け入れ事業所を決めて対応している。法人の受け入れ事業所に位置づけられれば体制整備等を行うとしている。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	障21	④ ・ b ・ c
<コメント> 法人のホームページに情報を公開し、事業所でも閲覧できる。		
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	障22	④ ・ b ・ c
<コメント> 法人本部にて適正な経営・運営が行われている。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	障23	④ ・ b ・ c
<コメント> 町内会への加入、散歩時に近隣の方との挨拶など、日ごろから交流をするように心掛けている。授産製品の製菓販売に利用者も同行し注文先の人との交流の機会ができるようにしている。		
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	障24	④ ・ b ・ c
<コメント> ボランティアの受け入れ規定に基づき、対応することになっている。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	障25	④ ・ b ・ c
<コメント> 相談支援事業所との連携や、一宮市の日中活動事業所連絡会への参加で必要な機関と連携を強化している。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	障26	④ ・ b ・ c
<コメント> 特別支援学校との懇談や相談支援事業所などの情報交換や連携を図りながら福祉ニーズの把握に努めている。		
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	障27	④ ・ b ・ c
<コメント> 短期入所や児童発達支援センターの事業所開設など、法人として地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動を行っている。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	障28	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 権利の主体者である利用者尊重について職員会議やケース検討会議で深めながら共通の理解と支援に取り組んでいる。利用者尊重は法人理念と基本方針に明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	障29	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 利用者のプライバシー保護に配慮した支援が行われている。またプライバシーに関する緊急時の情報提供について事前に家族等の了解を得たうえで、必要最低限の範囲で情報公開している。			
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	障30	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 日頃から利用者のニーズを聞き取り、必要に応じて福祉サービスの選択に必要な情報を提供している。作業所の体験利用にも応じている。			
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	障31	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 福祉サービスの開始や変更にあたり、利用者・家族の希望や意向を聞き取り、わかりやすく説明することに努めている。			
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	障32	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 利用者・家族の希望などを尊重し、関係機関とも連携してサービスが継続できるよう配慮している。			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	障33	a ・ ① ・ c	
＜コメント＞ パニック時や不適切な行動があった利用者の対応などについてケース検討を重ねて、小集団での活動を軸にした結果、落ち着いて過ごせる利用者も多くなっている。「症状」が和らぐ環境づくりや支援のあり方は継続した課題であり計画的に検討会議を開催するなど改善の余地がある。			
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	障34	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 苦情解決の仕組みがあり、周知されている。利用者が気軽に話しができるように職員から積極的に声掛けをしている。			
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	障35	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 日頃から声掛けをしっかりとって利用者が話しやすい雰囲気、環境づくりに努めている。			
Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	障36	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 日常的に利用者の声に傾聴し意思疎通を図っている。自分で意思表示することがむづかしい利用者に対しては表情や行動を観察して、迅速に対応するようにしている。職員会議等でも必要に応じて検討、周知している。			
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	障37	① ・ b ・ c	
＜コメント＞ 職員会議にてヒヤリハット報告書をもとに改善策や再発防止の検討を行っている。緊急時・事故対応マニュアルは整備している。			

Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	障38	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 感染予防マニュアルに新型コロナウイルスに関するマニュアルを加えて整備。嘱託医からの助言、指導も受けながら感染症の予防や発生時における利用者の安全確保に努めている。		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	障39	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 非常災害対策計画を整備している。避難訓練も定期的に行い、放水訓練、避難場所への移動、施設内の事業所の危険個所の確認も行った。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	障40	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 標準的な実施方法が文章化されている。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	障41	a ・ ② ・ c
＜コメント＞ 必要に応じて会議等で話し合い、過不足があれば随時見直しをすることになっている。定期的に検証・見直しの場を設けて取り組みができるなど改善の余地がある。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	障42	① ・ b ・ c
＜コメント＞ アセスメントに基づいて、個別支援計画の策定をしている。新型コロナウイルスの影響で家族との対面での懇談はできていないが、電話や連絡帳を通しての聞き取りの内容を反映させている。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	障43	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 6ヶ月毎にモニタリングを行い、評価と見直しを行い、職員への共有化に努めている。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	障44	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 個別支援計画の実施状況は適切に記録されている。支援記録は担当のグループ内だけでなく、必要な情報は朝礼・夕礼時に他グループの職員とも情報共有している。		
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	障45	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 書面及び電子データは個人情報保護の規程等により決められた書庫に保管、管理されている。		

【内容評価基準】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	障46	① ・ b ・ c
＜コメント＞ 日常生活や作業、余暇活動等で利用者本人の想いや希望を汲み取り、自身で「イエス、ノー」が伝えられるよう支援している。重度の利用者も多く、意思表示が難しい方には表情、身振り、絵カード等も用いて支援している。		

A-1-(2) 権利擁護

A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	障47	① ・ b ・ c
<コメント>法人の虐待防止委員会の会議内容など職場で情報共有を行い、利用者への権利侵害が行われないように職場で取組んでいる。 職員の行動指針に基づいて利用者主体の支援を心がけている。		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	障48	① ・ b ・ c
<コメント>利用者自身のできることは自分でやれるよう、見守りを基本に声かけをしている。利用者の状態や家庭環境に応じて、グループホームの短期利用に積極的な対応をし、自律・自立にむけて支援している。		
A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	障49	① ・ b ・ c
<コメント>利用者の心身の状況に応じてコミュニケーション方法を取るようになっている。簡単な単語の会話や文字の活用、絵カード、写真、また利用者の身振り手振りを推し測りながら意思確認をしている。		

A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	障50	① ・ b ・ c
<コメント>利用者のペースにあわせてじっくり傾聴。意思表示が難しい方は本人の様子（表情等）や家族からの情報をもとに利用者主体の支援を心がけている。日頃から利用者との会話や声かけにより、気軽に話しをしてもらえるように信頼関係作りに努めている。		
A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	障51	① ・ b ・ c
<コメント>個別支援計画に基づき、利用者の状況に合わせた支援に努めている。		
A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	障52	① ・ b ・ c
<コメント>自閉症の利用者対応では、本人の様子や取組み内容等に応じてパーテーションで仕切りをつくり落ち着く状態が維持できるよう支援をしている。発作の多い方には薬の投与管理や休憩室で安静に過ごせるように適切な支援を行っている。		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	障53	① ・ b ・ c
<コメント> 個別支援計画にもとづいて、生活支援をしている。		
A-2-(3) 生活環境		
A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	障54	① ・ b ・ c
<コメント>他の利用者との相性も考慮し座る位置などを工夫しながら、利用者が快適な環境で安心・安全に過ごせるように努めている。		

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	障55	①・b・c
<p><コメント>個別支援計画に従ってウォーキングやDVDを使用しての室内ダンス等を日課に取り入れ、体力、機能維持、強化に努めている。また日々の生活動作の中で生活能力の維持や獲得の機会を増やすように努めている。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	障56	①・b・c
<p><コメント>毎日の健康状態は職員（看護師を含む）が把握している。毎月の医師の往診時に、相談、助言を受けている。大きな発作等がある方に関しては急変時に携帯動画に記録し医師に提供し、家族ともすぐ連絡を取り合えるようにしている。</p>		
A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	障57	①・b・c
<p><コメント>服薬は職員が適切に支援している。医療的ケアの必要な利用者はいないが、難病の利用者もいるため、環境整備や家庭との連絡が密に取れるように心がけている。</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	障58	①・b・c
<p><コメント>利用者の希望にそって、外出や余暇活動、季節を感じられる取組みを積極的に取り入れている。買い物では自分でお金を払う実践を行っている。外出の自粛はあるが、施設内で出来るかぎり利用者の活動の幅を広げられるように、工夫しながら取り組んでいる。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	障59	①・b・c
<p><コメント>保護者からグループホームの短期入所の要望があり、利用者の気分や体調を考慮しながら短期入所に結びつけ、家族、ホームとも連携しながら地域生活へ徐々に移行していけるよう支援している。</p>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	障60	①・b・c
<p><コメント>普段は保護者会で家族と連携、交流しているが、コロナウイルス感染を考慮し保護者会を中止しているため、電話や連絡帳でのやりとりを中心にしながら家族の相談にも応じている。</p>		
A-3 発達支援		
		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	障61	非該当
<コメント>		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	障62	① ・ b ・ c
<コメント> いろいろな作業に挑戦してもらい、本人の力を見極めながら、本人の意欲を大事にして適切な作業に携われるよう支援している。		
A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	障63	① ・ b ・ c
<コメント> 仕事に対して消極的な利用者のケースでは、無理強いすることなく声かけをしたり、どの作業がしたいのかなど時間を取って、本人の意欲が引き出せるよう支援に努めている。		
A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	障64	a ・ ② ・ c
<コメント> 受注先の開拓など仕事の確保と、個々人に応じた作業が選択できるよう取組んでいる。仕事確保は十分とは言えないが、就労B型での定着と経験を重ねながら次のステップに向けて支援をしている。		